

## 総合的な学習の時間 全体計画

1. テーマ いのち  
生命 ～『生き抜く力』の創造～

### 2. 目標

横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

### 3. 育てようとする資質や能力及び態度

#### (1) 学習方法に関すること

- ・学習課題を把握し、テーマを設定し、課題追求の方法を身に付けさせる。
- ・課題解決の中から新たな疑問や課題を見だし、追求できる能力を育てる。

#### (2) 自分自身に関すること

- ・自己の特性や役割を認識し、良さを発揮したり伸ばしたりすることができる態度及び技能を育てる。
- ・自分の将来に見通しを持って、志を立てて計画的に行動できる態度及び技能を育てる。
- ・災害に対する強い危機意識を持ち、自ら正しい備えをするための態度及び技能を育てる。

#### (3) 他者や社会とのかかわりに関すること

- ・他者とかかわり合いながら、協同的に課題を解決できる態度及び技能を育てる。
- ・社会の一員としての自分に気づき、地域を創造していく態度を身に付けさせる。
- ・災害の危険にさらされる地域に対して何ができるか考え、共助の精神を身につけるとともに、具体的行動ができる力を育てる。

### 4. 基本的な取組み方針

- (1) 全学年とも積極的に、生徒の生活の場である地域そのものや地域が有する人材を活かした学習に取り組む。
- (2) 学習内容によって集中的な学習が必要な場合は、絆タイム（総合的な学習の時間）の時間を要として、学級活動等の時間を含めて時間を確保して学習を深める。

## 5. 内容

### (1) 「南海立志塾」を要としたキャリア教育について

#### ① 目的

- ア 勤労の尊さや意義など望ましい職業観と、自分の将来を切り拓く態度を育成する。
- イ 自分の進路を主体的に考え、自己の適性を見極めて進路選択ができる能力や態度を育成する。
- ウ 将来、社会人・職業人として必要な態度や能力を育成する。

#### ② 学年目標

##### 【1年：自分の将来に関心を持つ】

- ア 将来の夢や希望を知り、進路への関心を高める。
- イ 身近な職業について調べ、働くことについて考える。
- ウ 人は何のために働くのかを考え、今の自分の生き方や将来の進路について考える。

##### 【2年：自己理解を深め、正しい職業観を持つ】

- ア 自分の心身の特色を知り、自分に適した職業や目標を考える。
- イ 上級学校について調べ、自己の進路計画を立てる。
- ウ 将来に渡る志を立て、立志式に臨む。

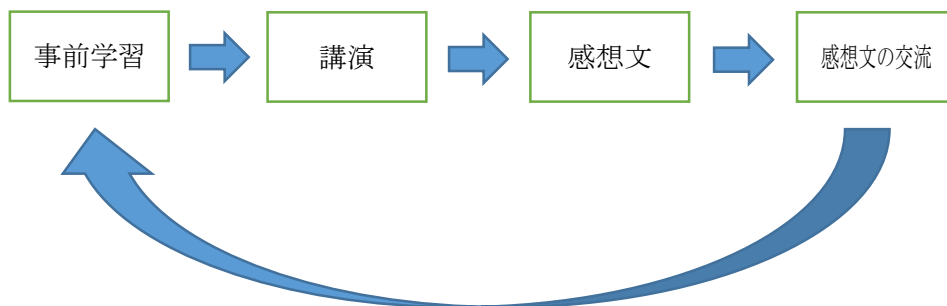
##### 【3年：自分に適した進路選択をする】

- ア 社会の一員としての義務と責任を理解する。
- イ 1.2年で深めた自己理解から、将来設計を立てて、主体的に進路選択する。
- ウ 進路の具体的な情報、知識等の知識を深め、進路選択の能力を高める。

#### ③ 「南海立志塾」の学習の進め方（立志塾サイクル）

- ア 講演者の職歴やプロフィール、その職業の概略などを事前に学習する。
- イ 講師の講演を聴く。（年3回程度）
- ウ 講演会後に感想を書いて、自己の考えを深める。
- エ クラスで講演の感想を交流したり、学級（学年）便りや学校便りで感想を共有したりして、自己の考えを広げる。

##### 【学習サイクル】



④ 『南海立志塾』年間計画案（3回）

次の年間計画を参考に、講師を決定して実施する。

月	テーマ（仮）	職 種	備 考
4月	南海立志塾 ガイダンス		
9月	すべての人に笑顔を ～仕事に込める思い～		
1月	志を立てる ～あきらめない勇気～		立志式 道徳参観日

(2) 立志式（2年生）について

① ねらい

中学3年生を迎えるにあたって、これまで学習してきたキャリア教育の視点から自分の将来の夢や希望を膨らませ、文章で表現したり、発表したりすることで志を固めて、今後の進路選択や進路決定に活かす。

② 日時及びおおまかな日程

令和4年1月21日（土）

1時間目 通常授業

2時間目 立志式（1・2年生が参加）

3時間目 記念講演会（全年生）

立志式には、2年生及び2年生の保護者、来賓（保育園・小学校・地域代表者ほか）及び1年生、3年生授業担当以外の教職員が参加する。記念講演会には、全校生徒、全教職員が参加する。

③ 式の主な内容

ア 学校長式辞

イ 来賓祝辞（出身小学校長、地域の代表等）

ウ 「志」表明（クラス代表）または「志」一言宣言（全員）

※ 学年の実態等に応じて実施

エ 保護者代表のあいさつ

オ 記念品贈呈（PTAから2年生へ）

カ 謝辞（2年生の代表者）

④ その他の取組み

ア 1・3年生及び教職員から「贈る言葉」の作成と体育館への掲示

(2) 防災教育にかかわるものについて（防災教育計画より抜粋）

① 目標

- ア 災害に対し、自らの命を守り、安全を確保することができる実践的な行動力を身に付けるとともに、地域の防災活動に主体的に参加する意欲を育てる。
- イ 災害発生の仕組みを学び、地域の防災体制について理解することにより、「防災対応能力」の充実を図る。
- ウ 地域が育んできた人権尊重の精神にねざして、「自他の生命の尊さ」や「共助」の重要性への自覚を促すことで、地域の安全・安心に貢献できる防災リーダーの育成をめざす。
- エ 自分たちの郷土に誇りを持ち、将来にわたって地域を担う資質や態度を養う。

② 各学年のテーマ

- ア 1年「防災活動全般について考えよう」
  - 災害のうち、地震・津波の正しい知識を身につけ、搬送訓練や避難グッズ作成を通して、災害時の対処法について学ぶとともに安心・安全な地域づくりに貢献する。
- イ 2年「防災と食について考えよう」
  - 地震・津波を含む自然災害から身を守る技能を身につけるとともに、炊き出し訓練や本校に設置してある貯水槽について学び、自他の生命の尊さや共助の精神を高めて、災害から力強く復興するために必要な態度を育てる。
- ウ 3年「防災リーダーなるためにどんな力が必要か考えよう」
  - これまで学んだことを活かし、公助機関との連携役を務め、地域住民とともに防災活動の日の避難所開設訓練の体験を通して、地域の絆づくりや安全・安心に貢献できる地域リーダーとしての資質を育てる。

## 6. 学習の評価

以下に示す項目を参照にして、文章で評価する。

評価観点		評価規準
I	課題設定能力	①学校生活や日々の学習体験などから疑問や問題点を見付けている
	自ら課題を見付け、課題を設定する能力	②各教科の学習などから疑問や問題点を見付けている
		③特別活動その他の様々な体験や講話などから疑問や問題点を見付けている
		④身の回りの様々なことに興味や関心をもっている
		⑤①～④をもとに、他者や社会にかかわり、自己の課題を設定している
II	問題解決能力	①課題解決や探究に向けての手順が分かり、見通しや計画を立てている
	自ら学び、自ら考え、情報を集めたりまとめたりして、よりよく問題を解決する能力	②見通しや計画に基づいて、自ら再考しながら取り組んでいる
		③友達や教師に自分から働きかけて解決に向かっている
		④インターネットや図書館などの資料などを自分から求めている
		⑤つまずいた時に次の解決策を見付けている
		⑥問題解決や探究の過程の状況をまとめている
		⑦取り組んだ結果を分かりやすく発表したり、報告書にまとめたりしている
		⑧調べたことを他者や地域に向けて発信している
		⑨各教科等で学んだ知識や技能を生かしている
III	主体性・創造性・協同性	①自発的、積極的、主体的に粘り強く取り組んでいる
	問題解決や探究活動に主体的・創造的・協同的に取り組む態度	②友達と進んで話し合い、考えを広げたり深めたりしている
		③自分が取り組んだことよさに気付いている
		④問題解決のために、これまでの経験（小学校の取組も含めて）を生かしている
		⑤問題解決のために、他者の考えを生かして、新しい考え方や方法を取り入れている
IV	生き方	①自分の好きなことや、自分のしたいことや、自分の夢などを自覚している
	自らのよさや可能性に気づき、生かしたり、夢や願いの実現に向けて行動したりする態度	②自分の得意、不得意や自分の特徴、よさなどを自覚している
		③自分の取り組んだことから、さらに新しい方向（疑問や問題・課題）を見いだしている
		④取り組んだことや結果を実際の場面で生かしている
		⑤夢や願いの実現に向けて、実社会での自分の生活を描きながら行動している